

# 生活科の実践

旭川市

生活科

2年

身近にある素材『タンポポ』に目を向けて！

## しぜんのふしぎさがそうよ

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>  
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



今回の指導要領の改訂では、気付きの質を高めるため、見付ける、比べるといった多様な学習活動を取り入れるよう求められました。ここではどこでも目にする『タンポポ』を使って、細かなところまでよく見る態度を育て、もののちがいや特徴に気づく目を養い、身近な自然への気づきの幅を広げていけるよう、単元を構成し取り組みました。、

### 学習活動の流れ（14時間）

よく見て葉の形を比べる活動を通して、今まで気付いていなかったことを発見します。このおもしろさを通して、タンポポから他の自然へと活動の幅を広げていきました。

身の周りの自然が学習の対象なので、休み時間や放課後の発見も取り入れました。

植物や小動物についての発見から1人一つずつ、三択形式のクイズをつくって交流することで、活動を見直すことができました。

#### 自然の不思議を探そう

タンポポや草花であそぼう（2）

- ・いろいろ遊べて楽しいね

タンポポの葉のちがいを見つけよう（1）

- ・ぼくの葉はギザギザだよ
- ・よく見たら違うね

タンポポ探しに出かけよう（2）

- ・もっといろいろよく見てみよう

#### 自然のクイズ大会をしよう

不思議探しの計画を立てよう（1）

不思議を探しに行こう（3）

- ・こんなことを見つけたよ
- ・よく見たらこんなことがわかったよ
- ・くわしく知りたいな みんなに伝えたいな

自然のクイズをつくろう（2）

- ・図書室でも調べてみよう

自然のクイズ大会をしよう（2）

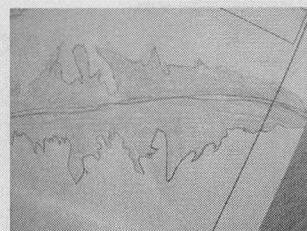
- ・たくさんのがあっておもしろいね

生き物のなぞなぞをやってみよう（1）

- ・自然ってすごいな
- ・普段からよく見てみよう

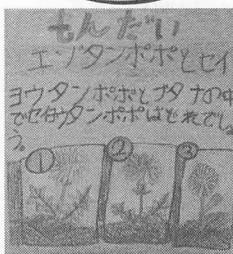
どこにでもある『タンポポ』にじっくりかかわっていきました。

今まで「なんとなく」見えていたモノが、主体的にかかわることで、変化していく活動です。



よく見て描きます

## 教材・活動の **Point!**

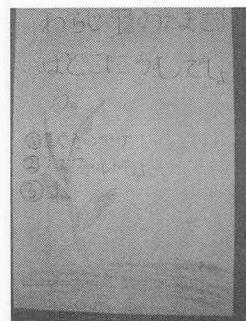


### 1. どこにでもある「タンポポ」を使って

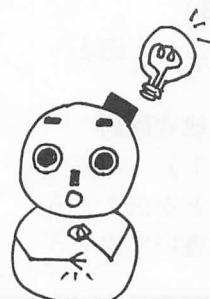
身の周りにたくさんあり、生活体験の中で子どもたちが見たり遊んだり、ふれ合ったりした経験が多く、常によく目についている植物である『タンポポ』。タンポポを用いれば、特別な自然環境がなくても気軽に学習に取り組めます。もちろん、他の素材を用いても同様の活動が可能になります。

### 2. 「よく見てみる」ことで新しい発見が

校地内でタンポポの葉を1人1枚ずつ取ってきて、形に注目して友だちの葉と自分の葉を比べます。その後、「丸とげくん」「ちょっととげくん」など、気づいた特徴から名前もつけました。見慣れたタンポポの葉でも、よく見てみると「こんなに違うんだ！」と大発見。他の植物や昆虫などもよく見てみようとする態度が育ちました。



### 3. 「見る目」や「自然とのかかわり方」の変化



初めは、観察をしてもイメージが先行して漠然と絵を描いていましたが、少しずつ細かなところまでよく見ようとし、絵や文にこだわりがみられるようになりました。そして植物や小動物への関心が高まり、日常生活でもいろいろな発見をし、興味、関心が高まっていったのです。